



東京アマデウス合唱団
第27回定期演奏会

5人の **JOHANN**

—J.S.Bach とその親戚—

Johann Gottfried Walther

Johann Christoph Bach

Johann Christoph Altnickol

Johann Sebastian Bach

Johann Christoph Friedrich Bach

Tokyo Amadeus Chorus

カトリック麻布教会

2008年11月30日

PROFILE

指揮 水野克彦



東京藝術大学卒業。
ピアノを滝崎鎮代子、クラリネットを千葉国夫、室内楽を細野孝興の各氏に師事。オルガンの手ほどきを今井奈緒子氏に受ける。
藝大バッハカンタータクラブに在籍中、小林道夫氏の薫陶を受ける。
日本オルガニスト協会会員。

チェロ 伊藤恵以子



東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了。
チェロを三木敬之、レーヌ・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。
パリ・エコールノルマルで学ぶ。第48回日本音楽コンクール入選。
Ensemble Délice のメンバー。

オルガン 堀江和子(練習ピアニスト)



武蔵野音楽大学短期大学部ピアノ科卒業。
キリスト教音楽学校パイプオルガン科卒業。同研究科修了。ẽ
ピアノを水本雄三、野村文子、オルガンを高橋靖子の各氏に師事。
茗荷谷キリスト教会オルガニスト・聖歌隊伴奏者。
日本オルガン研究会会員。

「東京アマデウス合唱団」

ソプラノ 河合佐知子、田部恵美、辻村順子、松木香織
アルト 伊藤正子、大久保ルミ子、大友美佐、小川由美子、宮崎米子
テノール 小沢 仁、片岡 繁
バス 柿沼 誓、水野克彦(指揮者)

ご挨拶

柿沼 誓

本日はお忙しい中をご来場賜り、厚くお礼申し上げます。
今年、J. S. バッハの親戚等の内5人のJOHANNの曲をお送りすることとしました。
今回は指揮者の水野先生にバスパートをお手伝い頂き、合唱団としては心強い反面、大変心苦しく思っているところであります。
この素晴らしい響きの教会で、それぞれ特徴のあるハーモニーをお聴き頂ければ幸いです。

PROGRAM

5人の Johann (J.S.Bach とその親戚)

Johann Gottfried Walther(1684-1748)

Kyrie,Christe,Kyrie eleison

主よ、キリストよ、主よ憐れみたまえ

über:Wo Gott zum Haus nicht gibt sein Gunst

「神が家に恩寵を与えたまわねば」による

Johann Christoph Bach(1642-1703)

Es ist nun aus mit meinem Leben (1.2.6.7 節)

今や私の命は消えて

Mit Weinen hebt sichs an

泣きつつ始まる

Johann Christoph Altnickol(1720-1759)

Befiehl du deine Wege

お前の道を委ねよ

——(休 憩)——

Johann Sebastian Bach(1685-1750)

Sei Lob und Preis mit Ehren (BWV-Anhang231)

賛美と誉れが栄光を伴ってあれ

Lobet den Herrn,alle Heiden (BWV230)

主を賛美せよ、すべての異邦人たちよ

Johann Christoph Friedrich Bach (1732-1795)

Wachet auf,ruft uns die Stimme

目覚めよと、その声は私たちを呼ぶ

(選曲 辻村順子)

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハが活躍したライブツィヒで、毎年6月に10日間ほどの期間、バッハ・フェストという音楽祭が開催されます。演奏家も聴衆も世界各国から集まり、市内のいろいろな教会やホールで朝から夜遅くまで毎日、バッハとバッハに関連する作曲家の作品が演奏されるのです。ここ数年は私も毎年、聴きに出かけています。そこで素晴らしい演奏に出会えるのはもちろんですが、演奏会の合間に楽譜やCDを探して歩くのも楽しみの一つです。昨年、そのような探索の折に、聖トーマス教会の前にある古楽専門書店でアルトニコルの楽譜を見つけました。それからやはり昨年、バッハ・フェストでヨーハン・クリストフ・バッハの曲を聴いて大好きになりました。ところがなんと、この曲の楽譜とCDはすでに我が家に存在していたのです！

今回のプログラミングはこのようなきっかけで思いつきました。私は以前からバッハ一族の曲に関心があり、歌ってみたいと思っていたのです。でも、これらには多声曲が多いので、当団のように人数の少ない合唱団では演奏できないかなと諦めかけていたところ、声部が少なく私たちにもできそうな上記の曲を見つけたというわけです。

そこで、数年前に演奏したことのある、ヨーハン・ゼバスティアン・バッハの息子、ヨーハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハの曲を加え、こうなるとやはり父親の曲も入れたいということでヨーハン・ゼバスティアン・バッハの数少ない四声のモテットも加えて、なんとか演奏会が成り立つだけの曲を選ぶことができました。ちなみに今年のバッハ・フェストは「バッハと息子たち」というテーマでした。だとすれば、私たちの演奏会のテーマは「バッハと親戚」とでもいうところでしょうか・・・？

以下に演奏曲目とその作曲家について簡単に記しておきます。

ヨーハン・ゴットフリート・ヴァルター **Johann Gottfried Walther (1684 - 1748)**

エアフルト Erfurt に生まれ、ヴァイマル Weimar にて没。

オルガニスト・作曲家・理論家・事典編集者。

最大の業績はドイツ語による初の大規模な《音楽事典》。母はヨーハン・ゼバスティアン・バッハの一族と近い親類。ヨーハン・ゼバスティアンと年齢もほとんど変わらず、互いに大きな影響を与え合った。

作曲家としては、宗教的な声楽曲、多数のコラール前奏曲、オルガン曲を書いている。声楽曲では、本日、演奏する《主よ、キリストよ、主よ憐れみたまえ：「神が家に恩寵を与えたまわねば」による **Kyrie, Christe, Kyrie eleison über : Wo Gott zum Haus nicht gibt sein Gunst**》1曲のみが現存している。

ヨーハン・クリストフ・バッハ **Johann Christoph Bach (1642 - 1703)**

アルンシュタット Arnstadt に生まれ、アイゼナハ Eisenach にて没。

オルガニスト・チェンバリスト。

父親、ハインリヒ・バッハ Heinrich Bach (1615 - 1692) はヨーハン・ゼバスティアンの祖父、クリストフ・バッハ Christoph Bach (1613 - 1661) の従弟でもある。さらにヨーハン・クリストフ自身はヨーハン・ゼバスティアンの最初の妻マリーア・バルバラ Maria Barbara の伯父にあたる。

バッハ一族の中では、ヨーハン・ゼバスティアン以前の最も重要な音楽家。現存する作品はわずかしかない。本日は《今や私の命は消えて **Es ist nun aus mit meinem Leben**》から第1、2、6、7節と《泣きつつ始まる **Mit Weinen hebt sichs an**》を演奏する。

ヨーハン・クリストフ・アルトニコル **Johann Christoph Altnickol (1720 - 1759)**

ベルナ Berna に生まれ、ナウムブルク Naumburg にて没。

オルガニスト・作曲家。すぐれたバス歌手で、ヴァイオリニストでもあった。

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハの最後の弟子で、バッハの娘エリーザベト・ユリアーネ・フリーデリーカ Elisabeth Juliane Friederica と結婚。たくさんの作品を書いたが、現存する作品はごくわずかである。《お前の道を委ねよ *Befiehl du deine Wege*》は、2007年に生誕400年を迎えた宗教詩人、パウル・ゲールハルト Paul Gerhardt (1607 - 1676) の同名の詩編コラールをモテットに編曲したもの。

この曲の旋律については、説明すると少々複雑になる。そもそもは、ハンス・レーオ・ハスラー Hans Leo Haßler の《我が心は千々に乱れ *Mein Gmut ist mir verwirret*》という歌曲の旋律にパウル・ゲールハルトの詩、《おお、血と傷にまみれし御頭よ *O Haupt voll Blut und Wunden*》を当てはめて作られた受難節コラールがあり、ヨーハン・ゼバスティアンのマタイ受難曲にも使われて有名である。そしてマタイ受難曲では、同じ旋律をさらにパウル・ゲールハルトの詩編コラール《お前の道を委ねよ》の歌詞でも歌わせており、義理の息子であるアルトニコルは当然のことにそれをよく知っていた。そんなわけで彼はこのコラールをモテットに仕立て上げる気になったのであろうか。

曲の構成は、12節からなる歌詞をそのまま順番に使い、テーマとヴァリエーションをふくめて12の楽章にまとめられている。第4曲はテノールを、第8曲はソプラノを、第11曲はアルトを除いた三声の曲に書かれている。

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ **Johann Sebastian Bach (1685 - 1750)**

アイゼナハ Eisenach に生まれ、ライプツィヒ Leipzig にて没。

バッハ一族の中で最も重要な人物。現在、「バッハ」といえば普通はこのヨーハン・ゼバスティアンを指す。2人の妻との間に20人の子供を授かるが、成人したのは10人のみという悲しい体験もしている。

《讚美と誉れが栄光を伴ってあれ *Sei Lob und Preis mit Ehren*》はカンタータ第28番の第2曲《いざ誉めよ、我が心よ、我が主を *Nun lob, mein Seel, den Herren BWV28/2*》を自身が編曲したもの (BWV Anh.231)。ゲオルク・フィリップ・テーレマン Georg Philipp Telemann 作曲のカンタータと言われている《喜びの声を主にあげよ、全世界よ *Jauchzet dem Herrn, alle Welt (BWV Anh.160)*》の第2曲に使用されている。

《主を讚美せよ、すべての異邦人たちよ *Lobet den Herrn, alle Heiden BWV230*》は大変有名な曲で、演奏される機会も多い。聴いたり歌ったりしたことのある方もおられるであろう。6曲のモテットのうち、唯一この曲だけが全曲を通して四声で書かれている。

ヨーハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ **Johann Christoph Friedrich Bach (1732 - 1795)**

ライプツィヒ Leipzig に生まれ、ビュッケブルク Bückeburg にて没。

ヨーハン・ゼバスティアンと後妻アンナ・マクダレーナ Anna Magdalena の間に生まれた息子たちの中では下から2番目。ビュッケブルクのバッハと呼ばれる。クラヴィーアの名手。《目覚めよと、その声は私たちを呼ぶ *Wachet auf, ruft uns die Stimme*》は、フィリップ・ニコライ Philipp Nicolai の同名のコラールが全3節、そのまま3つの楽章に作曲されている。第3楽章では父親の同名のコラールをそのまま引用している。

対 訳

訳：水野克彦

Johann Gottfried Walther

Kyrie, Christe, Kyrie eleison

über : Wo Gott zum Haus nicht gibt sein Gunst

ヨーハン・ゴットフリート・ヴァルター

主よ、キリストよ、主よ憐れみたまえ

「神が家に恩寵を与えたまわねば」による

Kyrie eleison,

Christe eleison,

Kyrie eleison.

主よ、憐れみたまえ、

キリストよ、憐れみたまえ、

主よ、憐れみたまえ。

Johann Christoph Bach

Es ist nun aus mit meinem Leben

ヨーハン・クリストフ・バッハ

今や私の命は消えて

1.

Es ist nun aus mit meinem Leben,

Gott nimmt es hin, der es gegeben.

Kein Tröpflein mehr ist in dem Faß,

Es will kein Fünklein mehr verfangen,

Des Lebens Licht ist ausgegangen.

Kein Körnlein läuft mehr in dem Glas,

Es ist nun aus, es ist vollbracht,

Welt, gute Nacht!

1.

今や私の命は消えて、

神は与えてくださった命をお召しになる。

もはや樽の中は一雫もなく、

もはや炎は少しも役に立たず、

命の光は消された。

もはや一粒もグラスに滴らず、

今や命は消えて、事は終わった。

世よ、おやすみ。

2.

Komm Todestag, du Lebenssonne,

Du bringest mir mehr Lust und Wonne,

Als mein Geburtstag bringen kann,

Du machst ein Ende meinem Leiden,

Das sich schon mit den Kindtaufsfreuden,

Vor jenen hat gefangen an,

Nun ist es aus, es ist vollbracht,

Welt, gute Nacht!

2.

来なさい、死の日よ、命の太陽よ、

お前はもっと多くの楽しみと幸せをもたらす、

私の誕生の日がもたらすそれらよりも。

お前は私の苦しみを終わりにする、

すでに幼児洗礼の喜びと共に

私の誕生の日によって始まった苦しみを。

今や命は消えて、事は終わった。

世よ、おやすみ。

6.

Welt, gute Nacht! Behalt das Deine

Und laß mir Jesum als das Meine,

Denn ich laß meinen Jesum nicht!

Behüt euch Gott, ihr meine Lieben,

Laßt meinen Tod euch nicht betrüben,

Durch welchen mir so wohl geschieht:

6.

世よ、おやすみ。お前の財産はお前のもとに置き、

私が自分の財産として取るのはイエス、

私はイエスを捨てない。

さようなら、私の家族よ、

お前たちは私の死を悲しんだりすることはない、

死をとおして私はとても幸せになるのだから。

Mein Leid ist aus, es ist vollbracht,
Welt, gute Nacht!

7.
Was wollet ihr euch nach mir sehnen?
Ei stillet, stillet eure Tränen,
Weil meine schon gestillet sind,
Mir wischt sie Jesus von den Augen,
Was sollen denn die euren taugen,
Und lachtet mit mir als ein Kind.
Was Jesus macht, ist wohlgemacht!
Welt, gute Nacht!

Johann Christoph Bach
Mit Weinen hebt sichs an

1.
Mit Weinen hebt sichs an, dies jammervolle Leben,
Es muß das kleinste Kind
Der bittern Tränen Schar sich weinend untergeben,
Eh' es sich noch besinnt.
Wenn's kaum geboren ist, so höret man doch schon,
Daß sich bei ihm erhebt der schmerzsvolle Ton.

2.
Das Mittel unsrer Zeit ist überschwemmt mit Sorgen,
Wir sind des Glückes Spiel.
Der weinet durch die Nacht bis an den lieben Morgen,
Und hilft ihm doch nicht viel.
Der Furcht- und Hoffnungsstreit zerquälet unsern Sinn
Und nimmt, eh' man es denkt, die besten Jahre hin.

3.
Das Alter kömmt herbei, die kummervollen Jahre,
Die uns gefallen nicht
Und führen uns den Weg zur trüben Totenbahre.
Wann dieses dann geschieht,
So ist es aus mit uns: der tränenvolle Lauf
Hat nun das Ziel erreicht: und hört mit Weinen auf.

私の苦しみは消えて、事は終わった。
世よ、おやすみ。

7.
お前たちはどれほど私を慕っているつもりなのか。
さあ、止めなさい、お前たちの涙を止めなさい、
私の涙はすでに止まっているのだから。
イエスが私の目から涙を拭ってくださる。
いったいお前たちの涙が何の役に立つというのか、
だから私と一緒に子供として笑うのだ。
イエスがなさる事は幸い。
世よ、おやすみ。

ヨーハン・クリストフ・バッハ
泣きつつ始まる

1.
泣きつつ始まる、悲惨に満ちる人生、
この人生は、おさなごを
泣きながら悲痛な夥しい涙で包み込むに違いない、
未だ物心つかないその子を。
おさなごが産まれるやいなや、すでに聞こえるのだ、
苦悩に満ちる音の調べが鳴り出すのが。

2.
私たちの人生の半ばは心配事で溢れていて、
私たちは博打をしているようだ。
いとおしい朝が来るまで夜通し泣くけれども、
それなのに多くの助けはない。
恐れと戦いと希望の戦いが私たちの心を憔悴させ、
考える間もなく、最良の年月を持ち去って行くのだ。

3.
老年が近づいて来ても、悲嘆多いその年月を
私たちは喜ばない。
老年は私たちを陰鬱な棺桶へと続く道に導く。
そうなったらもう、
私たちはおしまいだ。涙に満ちる人生の流れは
今や終点に着いた。だから泣くのはやめなさい。

Johann Christoph Altnickol
Befiehl du deine Wege

ヨーハン・クリストフ・アルトニコル
お前の道を委ねよ

Vers 1
Befiehl du deine Wege
Und was dein Herze kränkt
Der allertreusten Pflege
Des, der den Himmel lenkt.
Der Wolken, Luft und Winden
Gibt Wege, Lauf und Bahn,
Der wird auch Wege finden,
Da dein Fuß gehen kann.

第1節
お前の道と
お前が心傷める事を、
至誠の保護者に、
天を御する至誠の保護者に委ねよ。
雲と大気と風に
道と進路と方向を与える
そのお方は、また明らかになさるであろう、
お前の足が進むことのできる道をも。

Vers 2
Dem Herren mußt du trauen,
Wenn dir's soll wohlgerhehn,
Auf sein Werk mußt du schauen,
Wenn dein Werk soll bestehn.
Mit Sorgen und mit Grämen
Und mit selbsteigner Pein
Läßt Gott sich gar nichts nehmen,
Es muß erbeten sein.

第2節
主に信頼せねばならない、
もしお前が幸せでありたいなら。
主のみ業に目を留めねばならない、
もしお前の業が続いていこうにしたいなら。
心配や悲嘆や
自業自得の苦しみがあるようでは、
神はお前の願いを全く何もお受けになれ得ない。
お前は請い願うようにしなければならぬ。

Vers 3 Aria
Dein ewge Treu und Gnade,
O Vater, weiß und sieht,
Was gut sei oder schade
Dem sterblichen Geblüt:
Und was du dann erlesen,
Das treibst du, starker Held,
Und bringst zum Stand und Wesen,
Was deinem Rat gefällt.

第3節 詠唱
あなたの無限の誠実と恩寵は、
おお 父よ、知って見分けられるのだ、
何が益であり、害であるかという、
死すべき血統にとっての利害を。
そしてあなたはご選びになる事を
実行なさり、優れた勇士よ、
ご運びになるのだ、
あなたのみ心に叶う状態へと。

Vers 4 Trio
Weg hast du allerwegen,
An Mitteln fehlt dir's nicht;
Dein Tun ist lauter Segen,
Dein Gang ist lauter Licht:
Dein Werk kann niemand hindern,
Dein Arbeit kann nicht ruhn,
Wenn du, was deinen Kindern
Ersprößlich ist, willst tun.

第4節 三重唱
あなたは至る所に道を持たれ、
手段に欠けることがない。
あなたの行いは大きな恵みであり、
あなたの歩みは誠実な光である。
あなたのみ業を誰も妨げることにはできず、
あなたのお働きが休むことはあり得ない、
あなたが、あなたの子供たちに
益となる事をなさろうとするときは。

Vers 5

Und ob gleich alle Teufel
Hie wollten widerstehn,
So wird doch ohne Zweifel
Gott nicht zurücke gehen.
Was er sich fürgenommen
Und was er haben will,
Das muß doch endlich kommen
Zu seinem Zweck und Ziel.

Vers 6

Hoff, o du arme Seele,
Hoff und sei unverzag!
Gott wird dich aus der Höhle,
Da dich der Kummer plagt,
Mit großen Gnaden rücken:
Erwarte nur der Zeit,
So wirst du schon erblicken
Die Sonn der schönsten Freud.

Vers 7

Auf, auf, gib deinem Schmerze
Und Sorgen gute Nacht,
Laß fahren, was dein Herze
Betrübt und traurig macht,
Bist du doch nicht Regente,
Der alles führen soll,
Gott sitzt im Regimente
Und führet alles wohl.

Vers 8 Trio

Ihn, ihn laß tun und walten,
Er ist ein weiser Fürst:
Er wird sich so verhalten,
Daß du dich wundern wirst,
Wenn er, wie ihm gebühret,
Mit wunderbarem Rat
Das Werk hinausgeführt,
Das dich bekümmert hat.

第5節

そしてあらゆる悪魔が
ここで手向かうつもりであったのだが、
それでもやはり疑いもなく
神は退却されない。
神が決心された事、
所有しようとされる物、
それらをついこは達成されるに違いない、
そうした目的や目標を。

第6節

望め、おお お前、哀れな魂よ、
望め、そして怯むな。
神は、地獄から
悲嘆に苦しむお前を
大きな恵みを伴って押し出してくださるであろう。
ただ、その時を待ち望め、
そうすればお前はきっと見いだすであろう、
最も麗しい喜びの太陽を。

第7節

さあ、立て、そしてお前の痛みと
心配事におやすみを言え。
去らせよ、お前の心が
滅入り、悲しむ事を。
お前はやはり、君主などではないのだから、
すべてを統率すべき君主などではないのだから、
神が支配の座につかれ、
すべてをうまく統率されるのだ。

第8節 三重唱

神に治めていただけ
神は思慮深い君主である。
神は、振る舞われるであろう、
お前が不思議がるような振る舞いを、
神が、ご自分にふさわしく
驚くべきみ心を伴って
業を完成なさった時には、
お前が気にしていたその業を完成なさった時には、

Vers 9

Er wird zwar eine Weile
 Mit seinem Trost verziehn
 Und tun an seinem Teile,
 Als hätt in seinem Sinn
 Er deiner sich begeben,
 Und du sollst für und für
 In Angst und Nöten schweben,
 Und fragt er nichts nach dir.

Vers 10

Wird's aber sich befinden,
 Daß du ihm treu verbleibst,
 So wird er dich entbinden,
 Da du's am mindesten gläubst:
 Er wird dein Herze lösen
 Von der so schweren Last,
 Die du zu keinem Bösen
 Bisher getragen hast.

Vers 11 Trio

Wohl dir, du Kind der Treue,
 Du hast und trägst davon
 Mit Ruhm und Dankgeschreie
 Den Sieg und Ehrenkron:
 Gott gibt dir selbst die Palmen
 In deine rechte Hand,
 Und du singst Freudenpsalmen
 Dem, der dein Leid gewandt.

Vers 12

Mach End, o Herr, mach Ende
 Mit aller unsrer Not:
 Stärk unsre Fuß und Hände
 Und laß bis in den Tod
 Uns allzeit deiner Pflege
 Und Treu befohlen sein,
 So gehen unsre Wege
 Gewiß zum Himmel ein.

第9節

神は、なるほどしばらくの間は
 慰めのみ心から猶予しておられる、
 しかし神が、少しでも
 お心の中で
 お前を見捨てたかのごとく振る舞われれば、
 お前はいつまでも
 恐れと苦悩の中に彷徨わねばならない、
 そして神はお前を何一つ気におかけにならない。

第10節

しかし、もしもお前が
 神に忠実に、いつまでも留まっていれば、
 神はお前を解き放つてくださるであろう、
 お前がほんの少しでもそのことを信じれば、
 神は、お前の心を
 重い荷から解放してくださるであろう、
 悪を犯さないためにとお前が
 今まで担いできた重い荷から。

第11節 三重唱

お前は幸せだ、誠実な子よ、
 お前は持ち運ぶのだ、
 栄誉と感謝の歓声とともに
 勝利と名誉の冠を。
 神はおん身ずから棕櫚を与えてくださる、
 お前の右の手に、
 だからお前は喜びの讚美歌を歌うのだ、
 お前の悩みを退けてくださった神に。

第12節

終わらせてください、おお主よ、
 すべての我々の苦悩を終わらせてください。
 我々の手足を強めて、
 死の時まで
 我々をいつもあなたの保護と
 誠実に委ねさせてください、
 そのようにして我々の道は
 確かに天国へと通じていくのですから。

Johann Sebastian Bach
Sei Lob und Preis mit Ehren BWV Anh. 160

Sei Lob und Preis mit Ehren
Gott Vater, Sohn und Heilgem Geist,
Der woll in uns vermehren,
Was er aus Gnaden uns verheißt,
Daß wir ihm fest vertrauen,
Gänzlich verlass'n auf ihn,
Von Herzen auf ihn bauen,
Daß uns'r Herz, Mut und Sinn
Ihm tröstlich soll'n anhangen,
Drauf singen wir zur Stund:
Amen, wir werd'ns erlangen,
Glaub'n wir aus Herzensgrund.

Johann Sebastian Bach
Lobet den Herrn, alle Heiden BWV 230

Lobet den Herrn, alle Heiden,
Und preiset ihn, alle Völker!
Denn seine Gnade und Wahrheit
Waltet über uns in Ewigkeit.
Alleluja.

Johann Christoph Friedrich Bach
Wachet auf, ruft uns die Stimme

1.
Wachet auf, ruft uns die Stimme
Der Wächter sehr hoch auf der Zinne,
Wach auf, du Stadt Jerusalem!
Mitternacht heißt diese Stunde,
Sie rufen uns mit hellem Munde:
Wo seid ihr klugen Jungfrauen?
Steht auf, der Bräutigam kömmt!
Steht auf, die Lampen nehmt!
Halleluja!
Macht euch bereit
Zu der Hochzeit,

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ
讚美と誉れが栄光を伴ってあれ

讚美と誉れが栄光を伴って
神なる父、子、聖霊にあり、
神は私たちに増やしてくださるであろう、
恩寵による約束を。
神に固く信頼し、
まったくお任せし、
心から信頼をおくということ。
私たちの心、気持ちそして精神が
喜んで神を慕うということ。
これらの思いを今、歌う。
アーメン、この思いは成就することであろう、
私たちが心の底から信仰すれば。

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ
主を讚美せよ、すべての異邦人たちよ

主を讚美せよ、すべての異邦人たちよ、
主を讚えよ、あらゆる民族たちよ。
なぜなら主の恩寵と真理が
とこしえに私たちを統べ治めるからである。
アレルヤ。

ヨーハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ
目覚めよと、その声は私たちを呼ぶ

1.
目覚めよと、見張りたちの声が
尖塔の上で声高に私たちを呼ぶ、
目覚めよ、お前、エルサレムの町よと。
時は真夜中、
見張りたちは明朗な口調で私たちを呼ぶ、
「お前たち、賢明なおとめらはどこにいるのか。
立ち上がれ、花婿がくるのだ。
立ち上がれ、ランプを取れ。
ハレルヤ。
用意をせよ、
婚礼の用意をせよ、

Ihr müsset ihm entgegengehn!

2.

Zion hört die Wächter singen,
Das Herz tut ihr für Freuden springen,
Sie wachet und steht eilend auf
Ihr Freund kommt vom Himmel prächtig,
Von Gnaden stark, von Wahrheit mächtig,
Ihr Licht wird hell, ihr Stern geht auf.
Nun komm, du werthe Kron,
Herr Jesu, Gottes Sohn!
Hosianna!
Wir folgen all
Zum Freudensaal
Und halten mit das Abendmahl.

3.

Gloria sei dir gesungen
Mit Menschen- und englischen Zungen,
Mit Harfen und mit Zimbeln schön.
Von zwölf Perlen sind die Pforten
An deiner Stadt: wir sind Konsorten
Der Engel hoch um deinen Thron.
Kein Aug hat je gespürt,
Kein Ohr hat je gehört
Solche Freude.
Des sind wir froh,
Io, io,
Ewig in dulci jubilo.

お前たちは花婿を出迎えるのだ」と。

2.

シオンは見張りたちが歌うのを聞いて
心喜び跳び上がり、
目を覚まして急いで立ち上がる。
シオンの友は天国から壮麗に
恩寵と真理とによって力強く来て、
シオンの光は明るく輝き、シオンの星は昇る。
さあ来てください、あなた、貴重な冠よ、
主イエスよ、神の子よ。
ホザンナ。
私たちは皆、
喜びの広間へと従い行き、
共に晩餐を催すのだ。

3.

栄光の讃歌があなたに歌われますように。
人と天使の舌で、
ハープとシンバルで美しく歌われますように。
12 個の真珠によって飾られた門が
あなたの町にある。私たちは傍輩として
高貴な天使と共に、あなたの玉座のまわりに侍る。
今までに気づいた目はなく
今までに聞いた耳もない、
そのような喜び。
それを私たちは喜び、
そうだ、そうだと歓声を上げる、
永遠に甘い喜びの内に。

東京アマデウス合唱団のご案内 (2008.11 現在)

少人数に適したルネッサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取り上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い隠れた名曲を歌ってみたい方をお誘いしております。

今後の活動予定は下記の通りですが、少人数のバロックのアンサンブルと一緒に楽しみたい方や興味のある方が居られましたら、是非一度下記の練習会場にお出掛け頂き、見学だけでも大歓迎ですので練習状況等をご覧頂きたいと願っております。

下記ホームページをご参照の上、「護国寺」の同仁キリスト教会内の「美登里幼稚園」へお出掛けいただきたく、団員一同期待してお待ちしております。(事務局 大久保ルミ子)

<http://homepage2.nifty.com/Amadeus/>

来年の演奏会

「日時」 2009年10月12日(月・祝) 14時30分 開演(予定)

「場所」 カトリック麻布教会(予定)

演奏曲目(予定)

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン「没後200年記念」

フェリックス・メンデルスゾーン・バルトールディ「生誕200年記念」

参加ご希望の方へ(下記へ電話でご連絡の上、おいで下さい)

お問い合わせ先 辻村 順子 048-476-4056

大久保ルミ子 03-3960-7714

練習日 毎週水曜日 午後6時半～9時

練習場所 同仁キリスト教会美登里幼稚園 2F

指導者 水野克彦

会費 月額 5千円(学生半額)

入会金 1千円

(練習場所への交通案内)右図参照

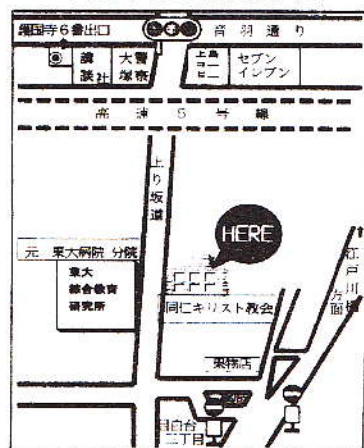
*地下鉄有楽町線

「護国寺」駅下車 6番出口から徒歩5分

*JR 山手線「目白」駅よりバスで

「目白台3丁目」下車 徒歩3分

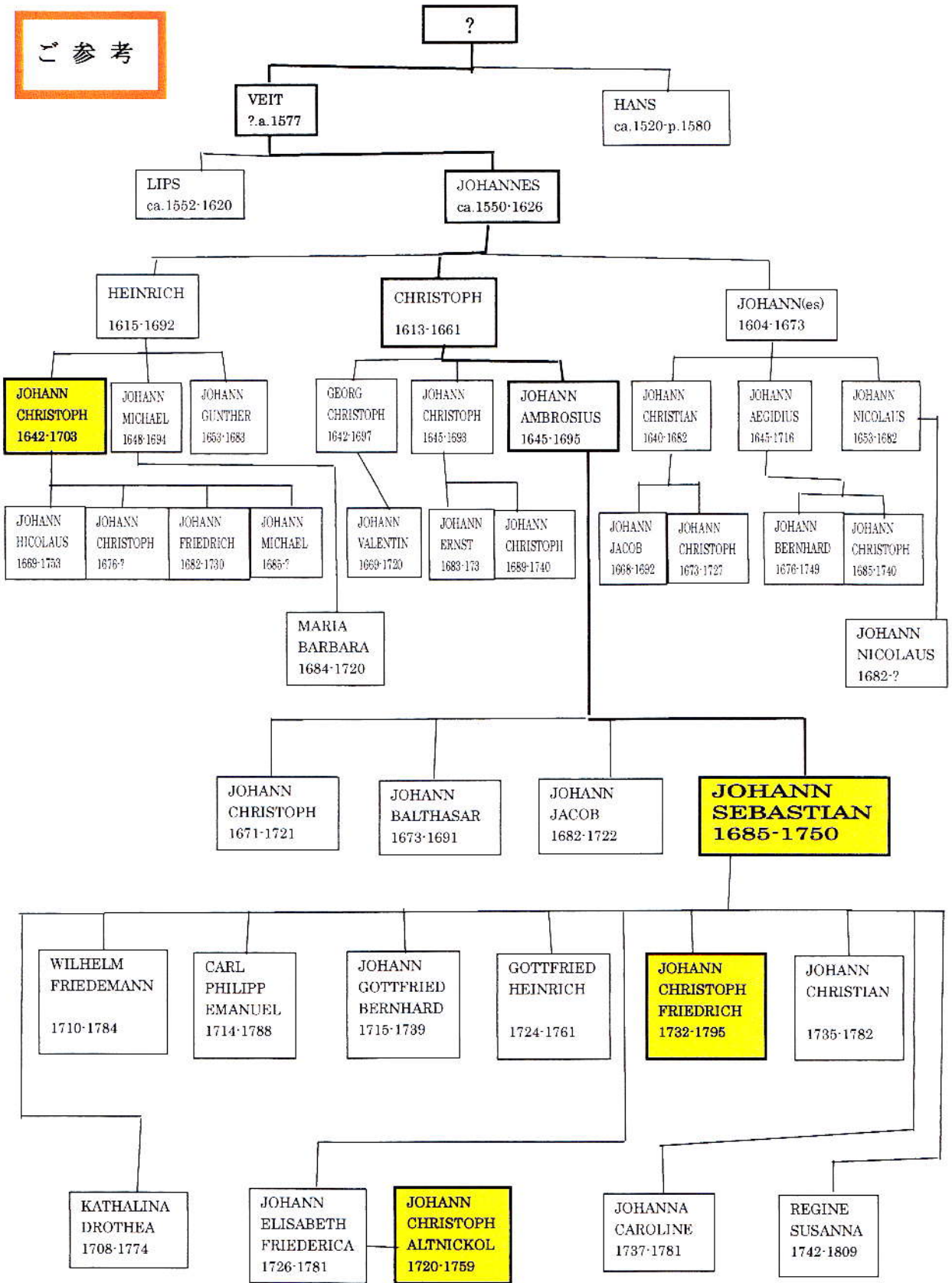
同仁キリスト教会案内図



演奏会の記録

	開催年月	主な演奏曲目	指揮
第1回	1981.02	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>、アヴェ・ヴェルム・コルプス)等	寺村博司
第2回	1981.11	ヘンデル(メサイア)	渡辺央己
第3回	1982.11	フォーレ(レクイエム)、ジョスカン・デ・プレ、シュッツ等	鈴木 優
第4回	1983.09	モーツァルト(戴冠式ミサ、ミサ・プレヴィイス 220)、ヴィクトリア等	黒岩英臣
第5回	1984.09	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>、ミサ・プレヴィイス 194)	黒岩英臣
第6回	1985.10	J.S.バッハ(カンタータ 106)、ブクステフーデ、ハスラー	宮本昭嘉
第7回	1986.10	モーツァルト(グローセ・ミサ)、ヴィクトリア(アヴェ・マリア)等	鈴木 優
第8回	1987.10	シュッツ (ムジカーリッシェ・エクセクィエン)、ハスラー(ミサ・セクンダ)	鈴木 優
第9回	1988.12	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、F.J.ハイドン(ミサ・プレヴィイス)等	齋藤明生
第10回	1989.11	モーツァルト(レクイエム<バイヤー版>、ミサ・プレヴィイス 140)	齋藤明生
春の小演奏会	1990.05	ジョスカン・デ・プレ(パンジェ・リングゲ)、ハスラー等	齋藤明生
第11回	1991.02	モーツァルト(リタニア 243)、J.M.ハイドン(ヴェスペレ)	齋藤明生
第12回	1991.11	モーツァルト(ドミニクス・ミサ、サンクタ・マリア・マーテル・デイ)等	齋藤明生
第13回	1992.11	シャルパンティエ(真夜中のミサ)、シュッツ、ブクステフーデ等	齋藤明生
第14回	1993.11	モーツァルト(ミサ・プレヴィイス 275)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生
15周年記念	1994.11	モーツァルト(レクイエム<ドルース版>、等)=渋谷混声と合同	齋藤明生
第15回	1995.10	J.S.バッハ(カンタータ 182)、ブクステフーデ(ミサ・プレヴィイス)等	齋藤明生
第16回	1996.11	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、アルブレヒツベルガー等	齋藤明生
第17回	1997.10	モーツァルト(ミサ・ソレムニス 337、テ・デウム・ラウドムス)等	齋藤明生
第18回	1998.10	J. S. バッハ(カンタータ 61,196)、D. スカルラッティ	齋藤明生
第19回	1999.10	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、J.M.ハイドン等	齋藤明生
齋藤先生追悼	2000.07	ハスラー(ミサ・セクンダ)、F.メンデルスゾーン、ホミリウス等	水野克彦
クリスマス	2000.12	四つのアヴェマリア(アルカデルト、ジョスカン・デ・プレ、ヴィクトリア、パレストリーナ)等	水野克彦
第20回	2001.11	モーツァルト(トリニターティス・ミサ)、F. J. ハイドン等	水野克彦
第21回	2002.10	ドイツ・バロック(J.C.F.バッハ、シュッツ、ブクステフーデ)	水野克彦
第22回	2003.11	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、アルブレヒツベルガー	水野克彦
第23回	2004.10	D. スカルラッティ、パレストリーナ、モンテヴェルディ	水野克彦
第24回	2005.11	シュッツ、テレマン、ブクステフーデ (カンタータ)	水野克彦
第25回	2006.11	L. レヒナー(受難曲)、J.D.ゼレンカ(洗足木曜日のためのレスポンソリア等)	水野克彦
第26回	2007.10	D. ブクステフーデ (カンタータ 6曲)	水野克彦
第27回	2008.11	5人のヨーハン(J. S. バッハとその親戚4人)	水野克彦

ご参考



Johann Gottfried Walther(1684-1748) = 母がバッハの近い親類。当時の系図には女性の記載がないため記入できませんでした。



J.S.Bach 家の家族

Collegium Amstelredanum

SINCE 1980